

損益状況<連結>

(単位:億円)

	29年9月期	前中間期比	28年9月期
	経常収益	917	△21
連結粗利益	663	△65	728
資金利益	557	△35	593
役務取引等利益	114	△6	120
特定取引利益	4	3	0
その他業務利益	△12	△25	13
営業経費	494	△1	496
不良債権処理額	24	38	△13
株式等損益	33	49	△15
経常利益	180	△56	237
親会社株主に帰属する中間純利益	111	△56	167
自己資本比率	9.73%	△0.55%	10.28%

29年9月期の連結業績につきましては、経常収益は前中間期比21億円減少の917億円となりました。

連結粗利益は、資金利益とその他業務利益が減少したことにより、前中間期比65億円減少の663億円となりました。

経常利益は、不良債権処理額は増加しましたが、株式等損益が増加したことにより、前中間期比56億円減少の180億円となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、前中間期比56億円減少の111億円となりました。

連結自己資本比率は、9.73%となりました。

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、中間配当を見送りとさせていただき、期末一括配当1株当たり44.0円を予定しております。

なお、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

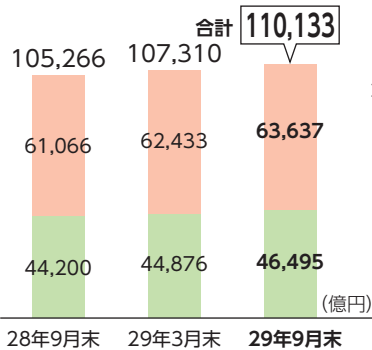
預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

預金(含む譲渡性預金)

11兆133億円

個人預金、法人預金とも順調に増加し、前中間期末比4,866億円増加しました。



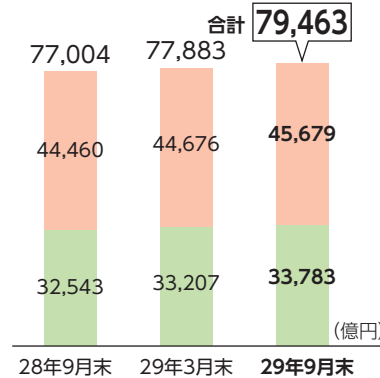
貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

貸出金

7兆9,463億円

事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出ともに増加し、前中間期末比2,458億円増加しました。



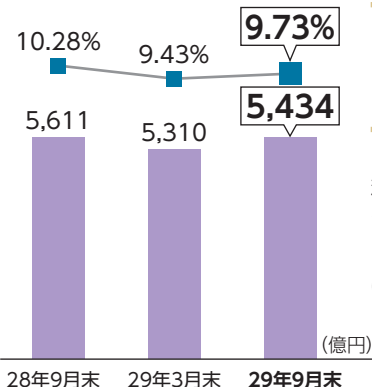
自己資本比率<連結>

自己資本
自己資本比率

自己資本
5,434億円

自己資本比率
9.73%

利益による剰余金の積み上げにより自己資本が増加したことなどにより、29年3月末比0.30ポイント上昇しました。



金融再生法開示債権<2行合算>

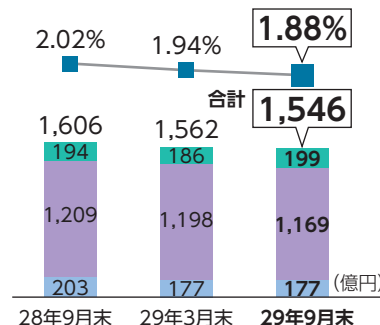
要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率

金融再生法開示債権
1,546億円

29年3月末比15億円減少しました。

開示債権比率
1.88%

29年3月末比0.06ポイント改善しました。



損益状況

(単位:億円)

	29年9月期	前中間期比	28年9月期
経常収益	456	△2	458
コア業務粗利益	353	△14	368
資金利益	304	△11	315
役務取引等利益	44	△2	47
特定取引利益	0	△0	0
その他業務利益	4	△0	4
経費	238	△0	238
コア業務純益	115	△14	129
業務純益*	100	△31	131
与信費用	17	28	△10
株式等損益	23	19	3
経常利益	108	△36	145
中間純利益	65	△41	107
自己資本比率	9.04%	△0.44%	9.48%
※ 一般貸倒引当金繰入前			
連結経常収益	457	△2	459
連結経常利益	108	△36	145
親会社株主に帰属する中間純利益	65	△41	107

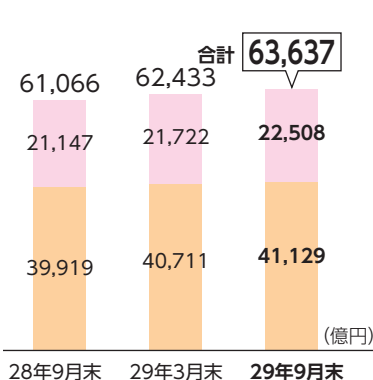
預金(含む譲渡性預金)

法人等
個人

預金(含む譲渡性預金)

6兆3,637億円

個人預金、法人預金とも順調に増加し、前中間期末比2,571億円増加しました。

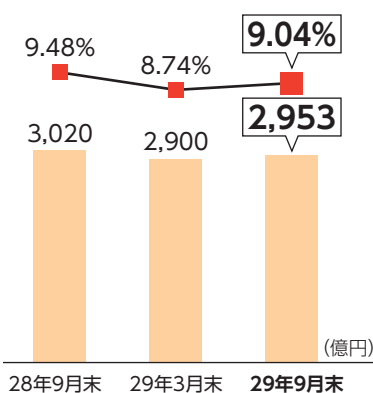


自己資本比率

自己資本
自己資本比率

自己資本
2,953億円自己資本比率
9.04%

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、29年3月末比0.30ポイント上昇しました。



コア業務粗利益は、貸出金利息および役務取引等利益の減少により、前中間期比14億円減少の353億円となりました。

コア業務純益は、前中間期比14億円減少の115億円となりました。

経常利益は、国債等債券損益の減少および与信費用の増加を株式等損益の増加により一部カバーし、前中間期比36億円減少の108億円となりました。

中間純利益は、前中間期比41億円減少の65億円となりました。

連結経常収益は前中間期比2億円減少の457億円、連結経常利益は前中間期比36億円減少の108億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比41億円減少の65億円となりました。

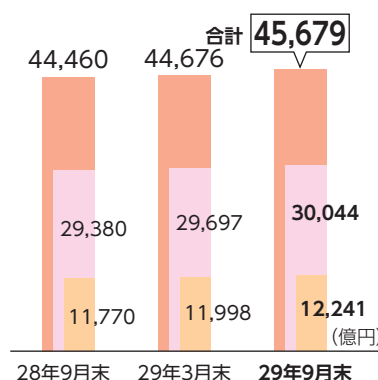
貸出金

中小企業等
個人ローン

貸出金

4兆5,679億円

事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出ともに増加し、前中間期末比1,219億円増加しました。

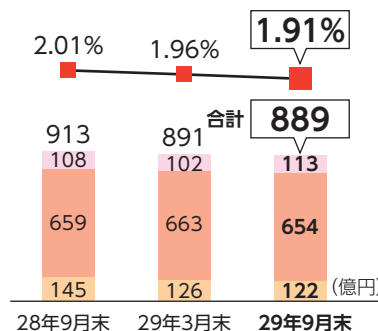


金融再生法開示債権

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率

金融再生法開示債権
889億円

29年3月末比1億円減少しました。

開示債権比率
1.91%

29年3月末比0.05ポイント改善しました。

損益状況

(単位:億円)

	29年9月期	前中間期比	28年9月期
経常収益	387	△17	405
コア業務粗利益	296	△28	325
資金利益	265	△18	283
役務取引等利益	36	△9	45
その他業務利益	△5	△1	△3
経費	206	△0	207
コア業務純益	90	△28	118
業務純益*	80	△38	118
与信費用	6	7	△0
株式等損益	14	32	△18
経常利益	82	△9	92
中間純利益	59	△5	65
自己資本比率	9.53%	△0.52%	10.05%
※ 一般貸倒引当金繰入前			
連結経常収益	388	△21	409
連結経常利益	79	△13	92
親会社株主に帰属する中間純利益	54	△9	63

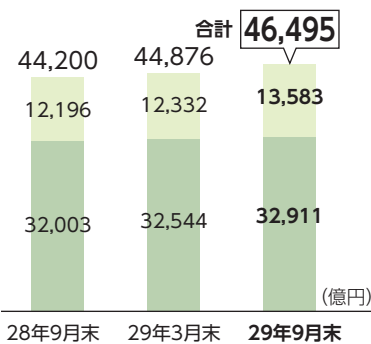
預金(含む譲渡性預金)

法人等
個人

預金(含む譲渡性預金)

4兆6,495億円

個人預金、法人預金とも順調に増加し、前中間期末比2,294億円増加しました。

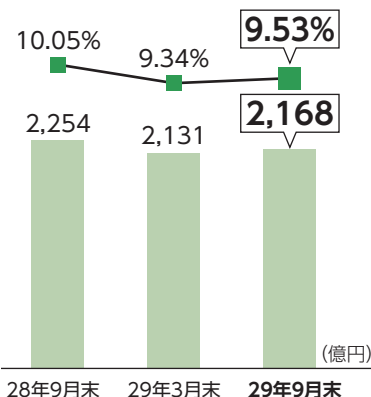


自己資本比率

自己資本
自己資本比率

自己資本
2,168億円自己資本比率
9.53%

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、29年3月末比0.19ポイント上昇しました。



コア業務粗利益は、貸出金利息、有価証券利息配当金および役務取引等利益の減少により、前中間期比28億円減少の296億円となりました。

コア業務純益は、前中間期比28億円減少の90億円となりました。

経常利益は、国債等債券損益の減少および与信費用の増加を株式等損益の増加によりカバーし、前中間期比9億円減少の82億円となりました。

中間純利益は、前中間期比5億円減少の59億円となりました。

連結経常収益は前中間期比21億円減少の388億円、連結経常利益は前中間期比13億円減少の79億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比9億円減少の54億円となりました。

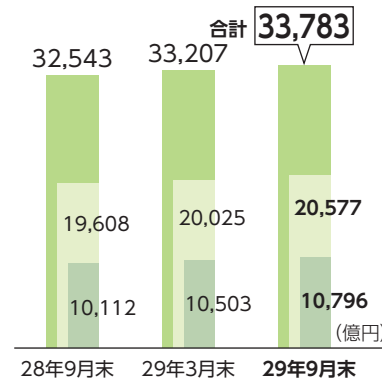
貸出金

中小企業等
個人ローン

貸出金

3兆3,783億円

事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出ともに増加し、前中間期末比1,239億円増加しました。



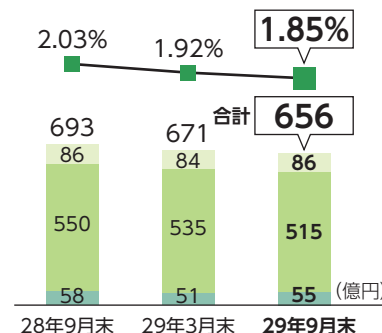
金融再生法開示債権

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率

金融再生法開示債権

656億円

29年3月末比14億円減少しました。

開示債権比率
1.85%

29年3月末比0.07ポイント改善しました。